

学習支援

学習支援とは：

自立した生活に必要な基礎的、基本的な学力（内容知・方法知）を身につけるための支援

○教科学習：子どもの発達や経験に即した、基礎的基本的な知識や技能の系統的な学習

○方法学習：主体的に生きるために、自分をよりよく理解し、自らものごとを解決したり意志決定したりする方法を身につけるための学習

方法学習内容配列表

	主体的な在り方、生き方	ものの考え方、調べ方		自分への関心や理解の仕方
		問題の解決方法、ものごとの予測、計画の立て方	観察の仕方、比べ方、情報の集め方、分類方法、まとめ方、発表の仕方、話し合いや相談の仕方	
幼稚園部	○遊びや生活の中で、支援者が用意した身近なこと（例、遊びや食べ物など）を自分で選ぶ。	○遊びの繰り返しや生活リズムの中で次に起こることを期待したり、楽しみにしたりする。	○身近なものに関心を持ち、いろいろな感覚（五感）を使って確かめる。 ○嬉しさや楽しさなどを言葉や動作で表現する。	○自分の名前や身近な人の名前を区別する。 ○運動や活動を通してからだの使い方を知るとともにこれらの名前を知る。 ○自分の好きなことや嫌いなことがわかる。 ○自分の気持ちや思いを表現する。
小学部	○学習や生活の中で支援者が用意した活動（歌や役割など）を自分で選んで行う。	○前に経験したことをもとにして、これからの活動を予想したり期待したりしながら楽しむ。	○身近な媒体（絵本やテレビ、ラジカセ）に親しみ、好きなものや関心のあるものを見つけ出す。 ○自分の思いや感情を言葉や動作で表現する。	○写真やビデオを選んで自分の経験や行為を振り返る。 ○友達との違いに気づいたり、自分の成長を感じたりする。 ○誉められたり認められたりする自分を嬉しく思う。
	○自分の身の回りのことや生活の行為の一部を自分で考えて行う。	○前に経験したことをもとに、結果を予想したり見通しを持ったりしながら活動を行う。	○ものごとをよく見たり聞いたり比べたりしてももの性質や特徴を知る。 ○自分が行ったことを思い出して記録したり発表したりする。	
中学部	○いくつかの学習内容や活動（学習のテーマ、自己の目標）を自分で選び、最後までやり通す。 ○自分が管理できるもの（所有物や金銭、時間など）の用途を自分で考えて決める。 ○他者との関係などで要求が通りにくい場合に自分の気持ちや行動に折り合いをつける。	○過去に経験したことや観察したことをもとに、よりよい結果を目指して活動を自ら計画する。 ○仲間と一緒にやろうとすることを話し合っって計画する。	○興味や関心のあることを辞書や図鑑で調べたり、人に尋ねたりする。 ○テレビのニュースや新聞の記事などの情報に関心を持つ。 ○調べたことや考えたことを記録し、順序立てて発表する。	○自分の成長を感じるとともに、大人になろうとする自分を知る。 ○自分や友だちの良い点や改めるべき点がわかる。 ○自分の特徴や性格を考える。
高等部	○自分が管理すべきもの（所有物や金銭、時間など）の用途を自分の責任のもとに決める。 ○自分の生活や自分の将来（進路）について自ら選んだり、決めたりする。 ○状況に応じて自分の気持ちや行動に自ら折り合いをつける。	○（意思決定や問題解決する際に）選択肢をあげたり、行動の結果を予測したりして（実行可能な）よりよい方法を考える。 ○経験や知識を応用して新しい考えを打ち出したり未経験のことにも積極的に挑戦したりする。 ○仲間や集団内で生じた共通の問題を話し合ったり、相談したりして問題を解決する。	○必要な情報を適切な媒体や施設（本、雑誌、CD、テレビ、インターネット、図書館、博物館など）を利用して収集したり、整理したりする。 ○ものの性質や要素を分けたりまとめたり、自分の考えなども含めて論理的に発表する。 ○人に相談したりアドバイスを求めたりする。	○他者との関係や社会的関係の中で、自分の好き嫌い、向き不向き、得手不得手を知る。 ○ものごとに対する自分なりの考えや主張を持つ。 ○自分の成長を追い、自分についての認識を深め、自分の特徴を理解する。 ○自分の性格や特徴がわかると共に、自分の存在を肯定的に捉える。 ○自分で撮った写真やビデオを用いて意思や考えを発表する。

※1 セルフエスティーム：自尊感情、自負心などと訳されることもある。自分を肯定的に認め、自分に自信を持ち、自分を価値あるものと誇れる気持ちのことをいう。

※2 共感性 (empathy)：自分が知らない状況に置かれている人の意見や気持ち、立場、生き方であっても、それを心に描くことができる能力。WHOが10のライフスキルの1つに挙げている。